

デートDV

って何？

デートDV は
大切な人の心や体を傷つけて、
ふたりの関係を壊してしまう
暴力 のことです



DVとは、相手を自分の思い通りにしようと、**夫婦や恋人**などの間 (Domestic=家庭の、家庭的な) で起きる**暴力** (Violence) のことです。

最近、高校生や大学生などの若いカップルの間でも暴力による支配が起きていて、「デートDV」と呼ばれています。

品川区ジェンダー平等推進センター
品川区東大井5-18-1 きゅりあん3階
☎03-5479-4104 FAX 03-5479-4111

デートDVチェックシート

大切な彼氏・彼女にこんなことを

していませんか？

- ひどく嫉妬したり、独占しようとしている
- 何をしているか確かめるために、しつこくメールをする
- 教育するつもりで、常に批判したり、バカにしたりしている
- 「別れるなら自殺する」と脅した
- 怒って相手を殴ったり、突き飛ばしたり、蹴ったり等の暴力行為をしたことがある
- 相手が嫌がるのに無理やりセックスしようとした
- お金の貸し借りがルーズになっている
- 自分のモノと思っている

されていませんか？

- 携帯の通話履歴・メールを勝手に見られた
- 勝手にメールアドレスを消された
- メールにすぐに返信しないというさく言われる
- 「別れるなら自殺する」と脅された
- お金や高価なプレゼントを要求された
- 他の異性と話ただけで、相手からしかれた
- いつも監視されているように感じている
- ストーカー行為をされた

この冊子を読んで、これって、デートDV？
そう疑問に思ったら、一人で悩まず相談してみませんか？！

裏表紙の相談窓口までお気軽にお問合わせください。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ をご存じですか？

簡単に説明すると

性や出産に関し、本人の意思が尊重され、身体的にも精神的にも健康でいられることです。そのために、自分のからだのことは自分で決めたり、自分を守ったりすることができるように、心身と健康に関する正しい知識を学習しましょう。

性や出産に関する正しい知識は、性暴力やデートDVなどの被害の防止や妊娠・出産を含め、生涯にわたる健康につながります。

不安なことがあるときに相談できる医療機関を見つけておきましょう。

どんなことがデートDVになるの？

デートDVをする人は、相手を自分の思い通りに動かすための手段として、次のようなさまざまな「力」を選択します。

身体的暴力

- 叩く、殴る、蹴る
- 突き飛ばす
- 相手に向かって物を投げる など



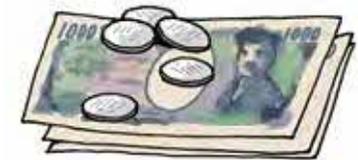
精神的暴力・行動の制限

- 相手に向かってバカにした言葉や汚い言葉を言う
- 友だちの前で侮辱する
- 壁などに物を投げつける、壁などを叩く
- 携帯電話をチェックして相手の行動を細かく監視する
- 行動や服装などを制限ないし強制する など



経済的暴力

- 借りたお金を返さない
- お金を貢がせる
- バイトをさせたり、反対にやめさせたりする
- お金の使い道を勝手に決める など



性的暴力

- 相手が嫌がるのに、性行為を無理強いする
- 無理やりわいせつな写真や動画を見せたり、撮影したりする
- 避妊に協力しない など



これらの具体的な例は、p6~13のマンガで詳しく解説しています。

デートDVはどのように起きるの？

デートDVは、考え方の間違いや、偏りが原因で起こります。デートDVを生み出す要因には、主に次の3つがあります。

1 カ(暴力)で支配しようとしている

さまざまな力を使って怖がらせたりして、相手を自分の思い通りに動かそうとするために起こります。



2 ジェンダー・バイアスにとらわれている

ジェンダーとは、「男らしさ」「女らしさ」といった社会や文化によってつくられた性別・性差のことで、バイアスとは偏見・偏った見方のことです。ジェンダー・バイアスとは、「男のくせに泣くな」「女は素直でやさしく、控えめに……」などと決めつけることで、この考えが根本にあるとDVが起こりやすくなります。



3 暴力を容認する背景がある

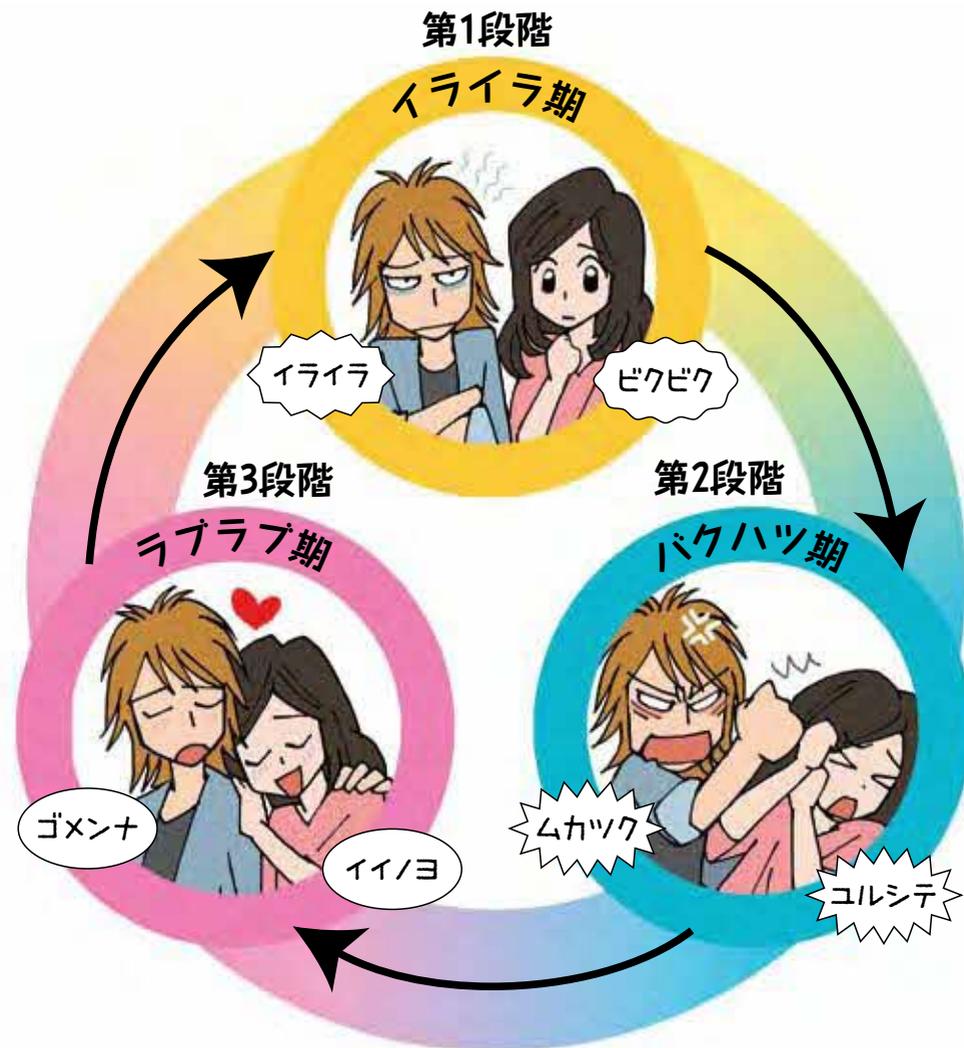
世の中には、「相手が悪ければ」「しつけのためなら」「愛情があれば」暴力をふるってもよいという、暴力を容認する文化や風潮があります。このため、恋人への暴力が軽く考えられている傾向があります。



カ(暴力)で支配すること、
ジェンダー・バイアスにとらわれること、
暴力を容認することは、
間違った考えだということに気づきましょう!!

どうしてデートDVはなくなるらないの？

暴力をふるわれたらすぐに別れることができればいいのですが……加害者はいつもひどいことばかりするわけではなく、暴力をふるったことを泣きながら謝ったり、やさしくしてくれるときもあります。デートDVにはサイクルがあるとされています。そのサイクルの中で暴力は繰り返され、だんだんと激しくなり、周期も短くなっていくことが多いとされています。



case1 殴ったり蹴ったりしてくる……



いいえ!
どんな理由であれ、暴力は絶対に許されません。
さんへ。

自分より力の強い相手から暴力を振るわれる恐怖や、痛みを想像してみてください。大好きな恋人から暴力を振るわれる悲しさを想像してみてください。思い通りにならないからって暴力を振るっていい理由にはならないよ。まずは、自分の気持ちをきちんと相手に「言葉」で伝えようね。

case2 イヤなことを言われる……



いいえ!
相手をバカにする言い方や否定することも暴力です。
さんへ。

言葉の暴力は、心に消えない傷を残すことだっているんだよ。付き合っている2人の間に、どちらかがどちらかを見下してよい理由なんて絶対ないんだから。お互いの気持ちを話し合うことでお互いに理解し、平等な関係を築いていくことができると思うよ。

case3 24時間、束縛&監視されてるようで……



いっえ! 恋人同士とはいえ、
別々の人間。
干渉するのはNGです。

さんへ。

自分の知らない彼の一面を見ると、仲間は
ずれにされたような気持ちにもなるよね。でも
好きな人が異性と話やメールをすることまで
制限をすることはよくないよ。相手にもあな
た以外の人たちとのつながりがあるよね。そ
うしたことを制限することも暴力になるよ。

case4 ケータイを勝手に見られる……



いっえ! あなたが「イヤだ」
と思うなら、それは
「ダメなこと」です。

さんへ。

相手のケータイを勝手に見るのは、プライ
シーの侵害だよ。何か気になることがあると
ときには、相手を疑ったり攻撃したりせず
に、まず自分の気持ちを伝え、それから相手
の気持ちを聞こう。こういう話し合いの積み
重ねが、信頼関係につながるんだよ。

case5 **すぐ「死んでやる」とか言う……**



しっしっ!
さんへ。
「死んでやる」という脅迫では相手の心はつなげません。
「こんなに好きなのにどうして応えてくれないの?」「自分の思い通りに相手がしてくれない」からと言って、相手を脅すような言葉を使うことも暴力のひとつです。好きな相手だから、何を言ってもいいという決まりはありません。相手と長く付き合っていくためにも相手の立場や気持ちを考えて行動や発言ができるといいですね。

case6 **彼のためにバイトと部活をやめた……**



しっしっ!
さんへ。
あなたの意思を無視している以上、それは「愛」ではありません。
「いつも一緒にいたい」という気持ちはわかります。けど相手には相手の世界があります。相手の意思を無視して自分の都合に合わせるのは、愛情ではなく独占欲です。それは本当の愛ではなく支配の始まりです。相手がどうしたいのかという気持ちを大切に尊重していくことも2人のよりよい関係のためには必要なことです。

case7 男がオゴるのが当たり前……?



いいえ! 男だから、女だから、という決まりはありません。

デートの費用を負担させたり相手の経済的自立をさまたげたりすることもデートDVになります。付き合っているからといって一方的に役割をおしつけてしまうと、相手を傷つけ関係が崩れてしまうこともあります。お互いの価値観、気持ちを尊重しあえる、2人にある関係を作っていきましょう。

case8 エツキはしたくないよ……



いいえ! 相手の嫌がることはやらないのが付き合いのルール。

「付き合う」=「性的行為をする」と思っている人は多くいます。相手のことを大切に思っていたら、体だけが目的じゃないなら相手の意思を無視して無理やりにはしてはいけません。お互いのことを考えると事前に避妊や感染症について話し合える関係にしたいですね。

デートDVをされている あなたへ

かもしれない

NO!!



GOOD!!



一人で抱え込まずに、
誰かに相談しましょう！



自分の気持ちを正直に
相手に伝えましょう！

友だちがデートDVをされている、
あるいはしている のを見たあなたへ

かもしれない

かもしれない

友だちが悩んでいるようだったら、「2人のことだし……」など思わずに、積極的に声をかけて話を聞いてあげてください。

また、相談窓口もたくさんあるのだということを教えてあげてください（→裏表紙参照）。

そして、友だちのことが心配だと思うやさしいあなたも、ひとりで抱え込まないで、誰かに相談しましょう！



デートDVをしてしまった あなたへ

かもしれない

NO!!



GOOD!!



「女らしさ」「男らしさ」を
押し付けず、「相手らしさ」
を尊重しましょう！



気持ちは暴力ではなく、
言葉で伝えましょう。



気持ちは「相手」ではなく
「自分」を主語にした
言葉で伝えましょう！

これを **1メッセージ** といいます！

自分の気持ちを伝えるとき「相手」を主語にすると、攻撃・命令する言葉になりがち。「自分」を主語にして、**自分の思いを伝える言葉=1メッセージ**にしよう！

相談窓口

DV相談

品川区ジェンダー平等推進センター ◎事前予約制 ☎03-5479-4104 午前9時～午後5時
※土・日・祝日・年末年始を除く
毎週金曜日(第2を除く) 午後1時～4時/第2金曜日午後5時30分～8時30分(祝日・年末年始を除く)
※その他にも、女性相談員による法律相談やカウンセリング相談、専門相談員によるにじいろ相談(LGBTQ専門相談)、こころのカウンセリング・SNS相談などがあります。お問い合わせください。

東京ウィメンズプラザ

☎03-5467-1721 午前9時～午後9時
※年末年始を除く

男性のための悩み相談 ☎03-3400-5313

毎週月・水・木曜日 ※祝日・年末年始を除く 午後5時～8時
毎週土曜日 ※祝日・年末年始を除く 午後2時～5時

東京都女性相談支援センター

☎03-5261-3110 午前9時～午後9時
※土・日・祝日・年末年始 午前9時～午後5時

プラス DV相談+ [内閣府男女共同参画局]

☎0120-279-889 24時間

よりそいホットライン

☎0120-279-338 24時間

女性の人権ホットライン [法務省]

☎0570-070-810 午前8時30分～午後5時15分
※土・日・祝日・年末年始を除く

性暴力救援ダイヤル NaNa [東京都]

☎0120-8891-77 24時間

警察相談専用電話

☎#9110

生活の安全に関する不安や悩みの相談。最寄りの警察署の生活安全課でも相談できます。

夜間・緊急 の場合

警察(事件発生時)

☎110番

東京都女性相談支援センター ☎03-5261-3911

法律

ストーカー行為等の規制等に関する

略称：ストーカー規制法

- つきまとい・待ち伏せ・押しかけ
- 面会・交際の要求
- 執拗なメールしつよう
- 無言電話・連続した電話、ファクシミリ
- 名誉を傷つける
- 監視していると告げる行為
- 乱暴な言動
- 汚物などの送付しゅうちゅうしん
- 性的羞恥心の侵害

これらの行為によって身の危険を感じた場合には、すぐに最寄りの警察署に相談してください。